

令和7年度第2回習志野市市民参加型補助金審査委員会議事録

開催日時 令和8年3月17日(火)午前9時20分～11時25分

2 開催場所 市役所グラウンドフロア会議室 BC

3 出席者

【委員長】 鍋嶋 洋子

【副委員長】 田島 則行

【委員】 齊藤 恵子 高岡 明美 松波 美由起 吉田 文雄 廣瀬 淳一

【事務局】協働経済部 部長 小倉 一美 次長 吉岡 治

協働政策課 課長 中野 充 係長 笠木 翼 主任主事 田村 大輔

【発表】 4団体 5人

【傍聴者】 7人

【関係課】 3人

4 会議内容

第1 会議録の作成等

第2 会議録署名委員の指名

第3 報告・審査

(1) 令和7年度採択団体実績報告及び令和8年度申請団体二次審査

5 会議資料 令和7年度第2回習志野市市民参加型補助金審査委員会

※別添資料

会議次第

資料1 習志野市市民参加型補助金審査委員会スケジュール

資料2 令和8年度習志野市市民参加型補助金 申請事業一覧

資料3 令和8年度習志野市市民参加型補助金の採点について

資料4 市民参加型補助金 二次審査採点票【記入例】

参考 ・習志野市市民参加型補助金審査委員会委員名簿

・習志野市市民参加型補助金審査委員会設置要領

・習志野市市民参加型補助金交付要綱

・習志野市市民参加型補助金制度 令和8年度募集要項

6 会議内容

第1 会議録の作成等
要点筆記とする。

第2 会議録署名委員の指名
松波委員、吉田委員

第3 報告・審査

(1) 令和7年度採択団体実績報告及び令和8年度申請団体二次審査

【習志野日和ワークショップ実行委員会】

申請事業について説明。

【田島副委員長】

本事業の運営と一般参加者の関わり方について伺う。

【習志野日和ワークショップ実行委員会】

津田沼見える化塾の修了生には習志野市民が多く含まれており、一般参加者として、習志野市民の方々を予定している。

また、参加者にも主体的に関わりをもって活動してもらうことを予定している。

【吉田委員】

ミニ FM の仕組みについて伺う。

また、補助金での取り組みであることから、公益性を求められる。得た知識、企画した内容をどのようにして多くのリスナーに届ける予定か伺う。

【習志野日和ワークショップ実行委員会】

防災行政無線のような地域の声を届ける仕組みのようなコミュニティを作りたい。インターネット FM (Podcast など) を活用し、アーカイブ化していつでも聞ける環境を整えたいと考えている。

【鍋嶋委員長】

多世代交流の促進という視点も含めて、参加者の募集方法、曜日や時間設定の工夫と、定期的な発信・周知の方法について伺う。

【習志野日和ワークショップ実行委員会】

多世代でも関りを持てるよう、親子などのペアでの募集・参加を想定している。日程は検討中だが、夏休みなどを検討しており、周知については市の広報や公民館、修了生が多くいる津田沼見える化塾のネットワークを通じて周知を予定している。

【廣瀬委員】

「シビックプライドの醸成」「市民が継続的に活用できるエコシステムの構成」の具体的な意味について伺う。

【習志野日和ワークショップ実行委員会】

シビックプライドは「習志野への愛着や誇りを育てること」。

エコシステムはインターネットラジオなど、身近なツールを使って気軽に活動できる仕組みを指している。

【地域団体 MAP】

申請事業について説明。

【鍋嶋委員長】

すでに香澄公園で定期的に行っている活動を、なぜ市役所を会場とし、7月の平日に開催を予定しているのか伺う。

【地域団体 MAP】

市役所は用事がある方がふらっと立ち寄れ、広く知ってもらうのに最適であると考えた。夏の平日でも、遊び場不足や天候に左右されない親子の居場所として価値があり、夕方は保育園帰りの親子も立ち寄れると想定している。

【松波委員】

事前の周知・集客方法について伺う。

【地域団体 MAP】

自団体の各種 SNS に加え、「ならしのこどもまんなか応援団」28 団体のネットワークを活用し、それぞれの集客ノウハウで相乗効果を狙っている。

【田島副委員長】

「ならしのこどもまんなか応援団」の 28 団体と地域団体 MAP の関係、活動の位置づけについて伺う。

【地域団体 MAP】

地域団体 MAP の事業のひとつとして「香澄公園プレーパーク」等を行っており、今回は「ならしのこどもまんなか応援団」の取りまとめ役として申請している。

【吉田委員】

集客のために、町会の回覧なども活用するとよい。

【地域団体 MAP】

ぜひ活用させていただきたい。

【earth FUNTRY!】

申請事業について説明。

【高岡委員】

絵本を施設に寄贈するだけでは興味のある子しか手に取らない。小学校で行われている「おはなし会」での活用や大勢でも見やすいように、紙芝居の製作も検討してほしい。

【earth FUNTRY!】

幅広い年代に興味を持ってもらえる内容を検討しており、いただいた提案を参考にする。

【齊藤委員】

高齢者など、絵本を手に取らない年代にも届けられるように映像の上映会も良いと思う。

【earth FUNTRY!】

これまでは子どもを通じて親世代に働きかけてきたが、その上の世代への直接的なアプローチ方法も検討していく。

【田島副委員長】

令和 8 年度はミュージカルを行わず、絵本製作に注力するのか伺う。

【earth FUNTRY!】

中心メンバーの育児専念やマンパワーの観点から、ミュージカル公演は 2 年に 1 度程度の開催を目指している。令和 8 年度は絵本製作に注力する予定である。

【鍋嶋委員長】

絵本製作後にどう活用し、目的を実現するか、ストーリーを描いてほしい。少人数での製作で終わらないよう、市民とのつながりを持たせた事業設計を検討していただきたい。

【earth FUNTRY!】

公募等で参加した子どもたちを集めてワークショップを行い、その声や文字を絵本に取り込むことや、子どもたち自身が読み聞かせを行うなどで、当事者意識を持たせる活用方法を関係各所と相談し進めていく。

【NPO 法人おりがみ】

申請事業について説明。

【吉田委員】

町会の担い手不足の現状に対し、子どもたちの主体性を重んじる姿勢が評価できる。将来の地域を支える人材育成に期待する。

【廣瀬委員】

本事業内容も含め、NPO 法人おりがみの活動がどのように習志野市に根付いていくか期待している。

【田島副委員長】

団体決算書類に記載されている寄付金と、事業収益の規模及び運営体制（人数）の詳細について伺う。

【NPO 法人おりがみ】

寄付金は県内の経営者を中心に広く働きかけており、次年度は増額を見込んでいるところである。事業収益はユニバーサルツーリズム事業等によるものである。運営体制は常勤スタッフ4名を中心に、社会人プロボノやコミットが高い社会人メンバーが約30人、その他多くの大学生で構成している。

【松波委員】

カメラマンを雇う目的と、撮影した写真の用途について伺う。

【NPO 法人おりがみ】

若者の集客には SNS 等での「良い写真」が重要なポイントのひとつであると考えていることから、カメラマンの起用を予定している。

日数としてはワークショップ前後及びイベント本番の3日間を予定している。

【鍋嶋委員長】

町会・自治会以外を対象とした活動の予定について伺う。

【NPO 法人おりがみ】

これまでの実績は町会・自治会のみであるが、今後は市役所や地域企業との連携も視野に入れている。習志野市で活動し始めて3年目であることから、まずは地域での信頼を獲得しながら着実に広げていきたいと考えている。